

関東ブロック内での自然保護担当者交流集会在、長瀬で開催されました。

今回は埼玉県連が主管でもあり県連理事会を中心に各加盟団体に参加と協力をお願いしました。十五日当日、朝早くより会場の準備を進め、昼頃から各県連

## 第21回 関東ブロック自然保護担当者交流集会報告

期日 10月15日(土)～16日(日) 1泊2日  
 場所 秩父「民宿・長瀬荘」  
 参加者 28名 宿泊・日帰り参加者込み

国連盟自然保護委員長 浦添嘉徳氏から挨拶をいただき、特別講演に秩父アルペンクラブ会員でもあり、秩父環境を考える会や埼玉県生態系保護協会会員の野口皖永(ヤシ)氏より、「武甲山と秩父の歴史と自然保護」をテーマに、スライドを利用し秩父や武甲山の地質から生態系に



担当者 講演の後は休憩もはさみ、各県連からの自然保護活動や震災支援活動の報告等で集会を終えました。

集会が終わると入浴タイム、そして楽しい夕食と交流会。夕食・交流会は屋根のあるパーベキュー会場に移り、ワイワイ言いながら、自分達で肉や野菜を焼きながらの夕食。

食事も一段落した7時頃にはステージに「秩父屋台囃子」のグループが登場。闇夜を背景に十二月三日の「秩父夜祭り」を彷彿とさせる太鼓演奏を披露。その演出には感激しました。

参加者ばかりが長瀬荘を利用する他のグループも加わり、最後には秩父音頭を皆



で輪になつて踊る等、交流会は大いに盛り上がりました。興味深く見ていた外国の若い



で輪になつて踊る等、交流会は大いに盛り上がりました。興味深く見ていた外国の若い



留学生も踊りの輪に加わり、国際親善にも役立ちました。日帰り組はここで退散。その後は宿泊棟に移り、夜遅くまで交流は続いたようです。(加納)



十月十六日 武甲山登山

前日の長瀬荘での講演会・各県連の取組発表・懇親会に引き続いて、本日は石灰岩の採掘が進みその山容が変り二〇〇名山の一つである武甲山を登る日で、天気が心配であったが何とか雨は上がった。

地元の秩父アルペンクラブ二名の方の案内で表参道コースの基点である一の鳥居駐車場で集合し九時二〇分に一九名が出発した。埼玉県連以外の県連の方には初めて登頂される方もおられた。

このコースは頂上まで約二時間の歩程で一の鳥居を一丁目、頂上の御嶽神社を五二丁目として登山道の各所に丁目石が置かれてるのが特徴である。

林道を登っていくとマス釣り場があり、現在ここでチチブイワナを保存している会があるとの説明があった。

一五丁目からは林道も終わり本格的な登山道となり暫くすると中間点の杉の大木がある広場

に出た。この辺りから頂上まではほとんど杉林でその下の林床は下草を刈ったように綺麗で遠くまで見渡すことが出来る。数年前はこんな光景でなかったがこれは鹿が増えすぎて下草を食べた後で、残っているのはトリカブト等の毒草だそうです。

山頂直下には御嶽神社がありその前に五二丁目石があった。その神社の裏手に抜けると展望台があり金網で囲まれた眼下には、秩父市内が一望できるが直ぐ下には雪のように白い石灰岩の採掘場が広がり異様な雰囲気であった。

この武甲山の採掘は今から九年前の一九一六年に開始され、一九七二年に一三三六mであった山頂が現在は一二九五mとなりこの三九一年間に四一mも低くなりました。

採掘後の武甲山を緑化する活動もされているようですがどう再生させたらよいかが問われています。「開発と自然破壊」は常に大きなテーマです。

御嶽神社前の広場で昼食し、登りと同じルートを下山。一の鳥居前で参加者全員が記念写真を撮り、秩父駅で解散しました。(新座 杉江)

